

クリンテートSNの効果確認試験



クリンテートSN(2013.01.23撮影)



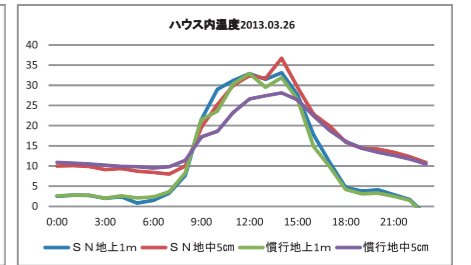
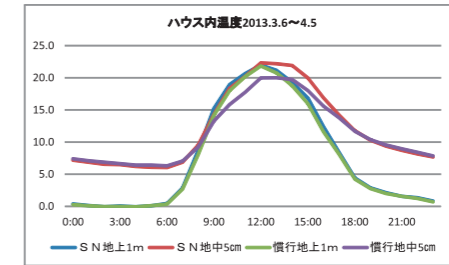
スカイコート5(2013.01.23撮影)



左:スカイコート5 右:クリンテートSN(2013.03.05撮影)



クリンテートSN(2013.03.05撮影)



試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
問題なく展張した。今までは0.15mm厚を使用。試験品は0.1mm厚なので今までのようにグイグイ引っ張って展張するには不安があった。
- (2)作物の生育状況または収量への影響
慣行区との差はなかった。特に影響はみられなかった。
- (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について
今のところ破れなどの発生は無い。育苗ハウスは0.15mm厚を3年間使用している。0.1mm厚で同じぐらい使えるか関心がある。
- (4)保温効果について
・ハウス内地上1mと地中5cmの位置におんどりを設置。降雪期間中の温度を測定。時刻毎の平均温度をグラフ化した。
1日を通しての平均温度について、地上1mで0.3℃、地中5cmで0.6℃クリンテートSNの温度が高く推移した。特に日中、最大で地上1mで1.1℃、地中5cmで2.5℃の温度差が見られた。
- (5)その他(保温性、遮熱効果、害虫忌避効果)
雪落ちは確かに早い。効果を実感した。

	クリンテートSN	慣行
地上1m 最高温度	22.0	21.8
地上1m 最低温度	-0.1	-0.1
地上1m 平均温度	7.5	7.2
地中5cm 最高温度	22.3	20.0
地中5cm 最低温度	6.0	6.3
地中5cm 平均温度	12.0	11.4

・期間中に降雪のあった日を抽出し一日の気温をグラフ化した。
3月26日(火) 天候:深夜から朝方にかけて14cmの降雪。その後晴れ時々曇り。
最低気温:-3.7℃ 最高気温:1.7℃
深夜から朝方にかけて降雪のあったこの日、午前中

のSNのハウス内温度が高いことがわかる。9時から10時にかけて1時間程度温度の立上がり時間が早い。これはSNの滑雪開始が早いことによるものと考えられる。また、クリンテートSNのハウスで滑雪後の温度が明らかに高いことについては、クリンテートSNの透明性の高さによるものと考えられる。

モニター感想

雪落ちは確かに早く効果は実感した。しかし、0.1mm厚では強度に不安があることから、冬の豪雪や春の突風対策として0.15mm厚の発売を希望したい。幅の規格も充実させて欲しい。

JA担当者の感想(生産推進課 有波職員)

玉ねぎ農家の育苗ハウスでは、播種作業が3月に行われ、定植まで約1か月間育苗を行う。新篠津村ではまだ雪が多く残る時期であることから、ハウス内の温度をしっかりと確保することが必要であり、ハウスの積雪を少しでも少なくすることが課題である。

今回、実際に使用して雪落ちの良さを実感して頂いた。一方、0.1mmの規格では耐用年数が気になるという感想も頂いた。

今後、新篠津村のような雪の多い地域では、生産者の労力軽減という点でクリンテートSNは実用性がある。価格がもう少し安ければ広く普及すると考えられる。

試験目的

クリンテートSNの効果確認試験

試験作物及び品種

玉葱育苗

試験資材及び数量(規格)

クリンテートSN(0.1mm×920cm×80m)

慣行資材

スカイコート5(0.15mm×930cm×80m)

栽培方法

播種日	定植日	収穫期間
3月3日	4月30日	3月3日~4月30日
【資材展張状況】 東西棟 無加温		

資材使用期間

10月27日~5月20日

試験区面積

480㎡